

神のエコノミーの大いなる車輪の行動において、
三一の神と一となる

聖書：エゼキエル1:15-21. ヤコブ5:17. ヨハネ14:12-13. 15:7.
マタイ6:9-10. 啓11:15

I. 神が敵の強奪する手から地を再び獲得するために、わたしたちは肉体と成ることの原則において彼と完全に協力し、組み合わされる必要があります——創1:26, 28. マタイ6:9-10. I コリント6:17 :

A. 主は地を回復し、地にご自身の王国を設立することを願っていますが、このことを行なうために彼が必要とするのは、わたしたちが肉体と成ることの原則にしたがってご自身と一となることです——啓11:15. 12:10. I コリント6:17. 7:10, 25, 40後半 :

1. わたしたちは主の心の願いにおいて、また地上で彼の定められた御旨を完成することにおいて、彼と一である必要があります——エペソ1:11. 3:9-11. ピリピ2:13。
2. わたしたちは神の行動において神と一である必要があります。すなわち、命において、生活において、今日わたしたちが地上で行なうすべてのことにおいて、彼と一である必要があります——I コリント6:17. ヨハネ15:1, 4-5, 7, 16。

B. わたしたちは神のエコノミーの大いなる車輪の行動において三一の神と一となって、彼のみこころを地上で行なう必要があります——マタイ6:9-10. 啓4:11. コロサイ4:12。

II. エゼキエル第1章15節から21節において、神のエコノミーは大いなる車輪にたとえられています :

A. 大いなる車輪は宇宙における神の行動です。神が活動し、行動するための手段としてのこの車輪は、キリストと召会です——エペソ5:32。

B. 大いなる車輪の車軸は、神のエコノミーの中心としてのキリストを表徴し、輪縁はキリストの配偶者である召会を表徴し、召会は新エルサレムにおいて究極的に完成します——コロサイ1:17-18. エペソ1:22-23. 啓21:2, 10-11。

C. キリストの肢体としての多くの信者は、車軸のスポークであり、伸展して輪縁、すなわちキリストのからだとなります——エペソ5:30. I コリント12:12-13, 20, 27。

D. この大いなる車輪は、ただ神のエコノミーであるだけでなく、神のエコノミーの行動でもあります——Iテモテ1:4. エペソ1:10. 使徒13:1-4:

1. 創世記第1章から現在に至るまで、この車輪は絶えず動き続けています——使徒17:1-6. ローマ15:18-19。
2. 神のエコノミーの行動は決して止まったことがなく、今日この大いなる車輪はわたしたちに到達しました——使徒28:31。
3. あらゆる時代において、またあらゆる世代において、神のエコノミーの車輪は地上で動いており、今やわたしたちはみなこの大いなる車輪の動き一部分です。

III. わたしたちは主と一となって、神聖なエコノミーの大いなる車輪の行動のために祈る必要があります——マタイ6:9-10. ヨハネ14:12-13. ヤコブ5:17:

A. 真実な祈りにおいて、祈る人は神と協力し、神と共に働き、神にご自身と神の願いを人の内側から、また人を通して表現していただき、究極的に神の定められた御旨を完成していただきます——ヨハネ15:7. ヤコブ5:17。

B. 「祈って主と同労し、車輪が動き回るまでになります」——詩歌(全訳)、569番、5節:

1. 「祈って主と同労し、祈って主のために道を備え、祈って主を動かし、また動かされて中心から輪縁まで主の道を歩みましょう」——1節。
2. 「祈って主と同労し、主に始めていただき、遂行していただきましょう。すべての計画と働きは、主がわたしを通して成就されます」——4節。
3. 「祈って主と同労し、主のみこころと目的に従いましょう。主に完全に結合され、祝福が満ちあふれるに至ります」——2節。

IV. 神のエコノミーを完成する神の行動は、エゼキエル第1章15節から21節において描写されている高くて畏るべき車輪の動きによります:

A. 車輪の動きは、主の特別で、並はずれた動きであり、彼の永遠の定められた御旨のためであって、わたしたちの強さ、力、供給としての主によります——参照、5-8, 19-20節:

1. わたしたちの神は生きており (Iテモテ3:15. ヘブル3:12)、わたしたちの主は行動しており (マタイ16:18)、その霊は働いて (啓5:6後半) 神の永遠のエコノミーを完成しています。
2. あらゆる地方召会とあらゆる個別の信者は、高くて畏るべき車輪を彼

らと共に持っているべきです——参照、使徒13:1-4。

B. 高くて畏るべき車輪が地上にあることは、神が地上で行動する必要があることを見せています——エゼキエル1:15. マタイ6:10 :

1. 車輪に緑柱石の様があることは、車輪がどこに行っても、主の様をもたらしことを示します——エゼキエル1:16前半. ダニエル10:6。
2. 車輪に同じ様があることは、主の行動にはあらゆる召会において同じ姿と様があることを示します——エゼキエル1:16後半. 参照、啓1:12. I テサロニケ2:14。
3. 車輪が四つの方向に行き、行くときには曲がらなかったことは、組み合わせにおける行動を示します——エゼキエル1:17。
4. 高くて畏るべき車輪の輪縁が目で満ちていることは、わたしたちが主の行動において主と一であるなら、彼の洞察力と啓示を持つようになることを示します。わたしたちは主の行動にあずかればあずかるほど、ますます照らされ、ますます見ることができるようになります——18節. エペソ1:17。
5. エゼキエル第1章における最大の啓示は、車輪の中にある車輪です。車輪の中にある車輪は、わたしたちの行動の中にある主の行動を見せています——15-16節 :
 - a. エリヤが祈りの中で祈ったことは、主の祈りが彼の祈りの中にあつたことを意味します。これが車輪の中にある車輪です——ヤコブ5:17 :
 - (1) エリヤは自分自身の目的を満たすために、自分の感覚、考え、意図、気分、自分の境遇や状況から起こるあらゆる種類の動機において祈ったりしませんでした。
 - (2) エリヤには特定の方法で祈る負担がありました。その負担は、主がエリヤに与えた祈りであり、主がご自身のみこころを完成するためでした。ですから、エリヤは祈りの中で祈ったのです——17節. ローマ8:26-27。
 - b. 内なる車輪はモーター、発電機であり、それが車輪を動かします。わたしたちの行動が真実なものであるなら、わたしたちの行動の中に必ず主の行動がなければなりません——参照、1:9. 8:16。
6. 車輪が生き物に従ったことは、神の働きの行動がわたしたちの行動にかかっているということを示します——エゼキエル1:19. 参照、伝11:4。
7. 車輪は生き物に従い、生き物は「霊」に従いますが、「霊」が車輪の

中にあることは、わたしたちの行動の中にある主の行動が、肉体と成ることの原則にあることを示します——エゼキエル1:20. I コリント 6:17. 7:10, 25。

- C. 神の行動、神の活動の車輪について、輪縁としての召会が車軸としてのキリストに合致する必要があります。わたしたちが中心としてのキリストと、輪縁としての召会とを持つとき、いつも動いている神のエコノミーの車輪を持ちます——エペソ5:32. コロサイ1:17-18。

©2012 *Living Stream Ministry*